釧　路　農　業　の　概　要

令和５年３月

北海道釧路総合振興局産業振興部

住　所　　〒085-8588　釧路市浦見２丁目２番５４号
電　話　　0154-43-9223（農務課主査（企画））
http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/num/

■ 目　次 ■

１　釧路総合振興局管内の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（１）管内農業の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）位置・・２
（３）自然・・２
（４）令和４年の農作物生育概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
２　農業構造
（１）耕地面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（２）農家戸数と農業就業人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）１戸当たり経営耕地面積・労働時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（４）新規就農者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（５）経営離脱者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（６）認定農業者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（７）農地所有適格法人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
３　農業経済の状況
（１）農業算出額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（２）農業協同組合取扱高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
４　農業生産の状況
（１）酪農・・・５
（２）畜産・・・６
（３）飼料作物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（４）農産物・・６
５　農地整備・農村振興
（１）農業農村整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（２）農村振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
６　普及・家畜衛生・試験研究機関
（１）釧路農業改良普及センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（２）釧路家畜保健衛生所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（３）北海道立総合研究機構酪農試験場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
７　担い手支援
（１）北海道指導農業士・農業士釧路地区連絡会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（２）青年農業者グループネットワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（３）女性農業者ネットワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（４）釧路農業法人会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（５）新規就農研修牧場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
８　営農支援
（１）酪農ヘルパー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（２）コントラクター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（３）ＴＭＲセンター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（４）農協出資型法人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
９　食に関する取組
（１）有機農業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（２）食育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（３）地産地消・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（４）６次産業化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
10　エゾシカによる農業被害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
11　地域資源を活かした取組
（１）生乳加工施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（２）ふれあいファーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
（３）都市農村交流施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

■1　釧路総合振興局管内の概況■

区　　分	単位	釧　路 A	全　道 B	構　成　比 A／B×100(%)	資　　料
総　土　地　面　積	ha	599,747	8,342,387	7.2	全国都道府県市区町村別面積調(R4)
耕　地　面　積	〃	88,500	1,143,000	7.7	農林水産統計(R2)
農　業　経　営　体　数	経営体	1,100	34,913	3.2	2020 年農林業ｾﾝｻｽ
販　売　農　家　数	〃	970	32,232	3.0	
会社・農事組合法人	〃	142	3,799	3.7	
乳用牛飼養戸数	戸数	816	5,745	14.2	2020 年農林業ｾﾝｻｽ
肉用牛飼養戸数	〃	473	3,609	13.1	
農業就業人口（個人経営体）	人	2,464	80,552	3.1	2020 年農林業ｾﾝｻｽ
うち６５歳以上	〃	749	32,488	2.3	※令和 2 年より販売農家数から個人経営体数に変更
（高齢化率）	%	30.4	40.3	－	
乳牛飼養頭数	頭	120,245	810,699	14.8	
（１戸当たり）	〃	155,2	146.3	－	2020 年農林業ｾﾝｻｽ
肉用牛飼養頭数	〃	42,991	515,774	8.3	
小麦収穫量	t	1,600	728,400	0.2	農林水産統計（R3）
馬鈴しょ収穫量	〃	14,500	1,686,000	0.9	農林水産統計（R3）
てん菜収穫量	〃	19,000	4,061,000	0.5	農林水産統計（R3）
牧草生産量	〃	2,303,000	14,394,000	16.0	農務課調べ（R3）
生乳生産量	〃	548,106	4,133,614	13.3	ﾎｸﾚﾝ生乳受託実績（R3）
農業産出額	千万円	8,855	126,659	－	生産農業所得統計（R2） ※釧路管内の数値は、「農業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果」を記載
耕種	〃	280	53,296	－	
畜産	〃	8,574	73,365	－	
（うち生乳）	〃	6,134	40,083	－	
生産農業所得	〃	－	50,600	－	
（生産農業所得率）	%	－	40.2	－	
（参考）農業協同組合取扱高	千万円	7,283	－		R3(生乳補給金除く) 各農協資料より

（1）管内農業の歴史（沿革）

釧路管内では、江戸時代以前から農耕や荷役用の牛馬の放牧等が行われていましたが、本格的な農畜産業の始まりは明治維新以後の軍馬飼育や畑作物の生産以降になります。

戦後は、軍馬需要の消滅、トラクターの普及による農耕馬生産の衰退、冷害による畑作物の被害等により、乳牛を中心とする酪農に特化し道内でも有数の草地型酪農地帯となりました。

（2）位置（地勢）

釧路管内は北海道東部に位置し、面積は約 6,000 平方 km(北海道の約 7.19%)で、ほぼ茨城県に匹敵する広さです。地形は小河川に細分化された波状丘陵地が多く、平野には湿地が発達しています。

西は直別川河口と白糠丘陵で十勝総合振興局に接し、北は千島火山帯の分水嶺を境にオホーツク総合振興局と、東は根釧原野の中で根室振興局と接し、南は太平洋に面しています。

（3）自然（国立公園・ラムサール条約等）

釧路管内北部には阿寒摩周国立公園の「阿寒湖」、中央部には釧路湿原国立公園の「釧路湿原」、東部には厚岸霧多布昆布森国定公園の「霧多布湿原」並びに「厚岸湖・別寒辺牛湿原」があり、これらは国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録された湿地です。

これらの優れた自然環境は、タンチョウ、シマフクロウ、オオワシ、キタサンショウウオ、イトウなど希少な生き物の生息地となっています。

（4）令和４年度の農作物生育概況

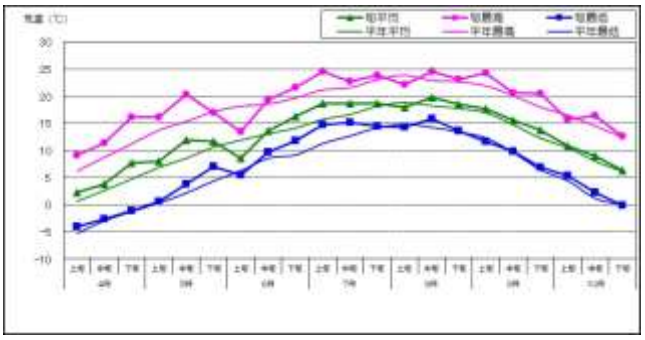
令和４年度の気象概況は、気温は６月上旬と８月上旬に平年を下回りましたが、概ね平年より高く推移しました。６月中旬から８月中旬にかけては降水量が多く、日照時間も平年を下回りました。

農作物の生育は、６月上旬の低温により一時停滞しましたが、その後は気温が高く、適度な降雨があったため生育は順調に進みました。１番草は、収穫時期に降雨の日が続いたことから、平年より収穫が遅れましたが、２番草は好天に恵まれ、平年より早く収穫作業が終了しました。サイレージ用とうもろこし、小麦、てん菜、ばれいしょについては、平年並みに収穫作業が終了しました。

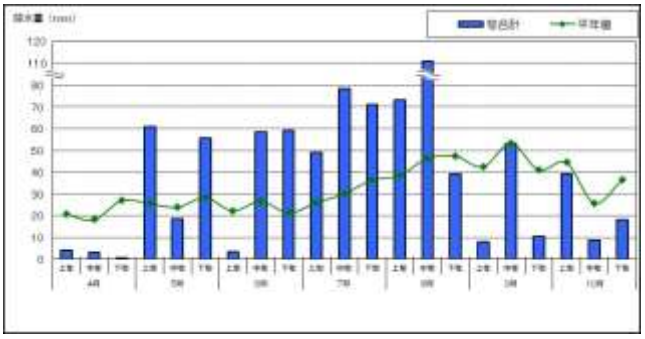
なお、令和５年産の小麦のは種作業は平年よりやや早く終了し、生育は順調に進んでいます。

【観測地点：川湯】

気　温

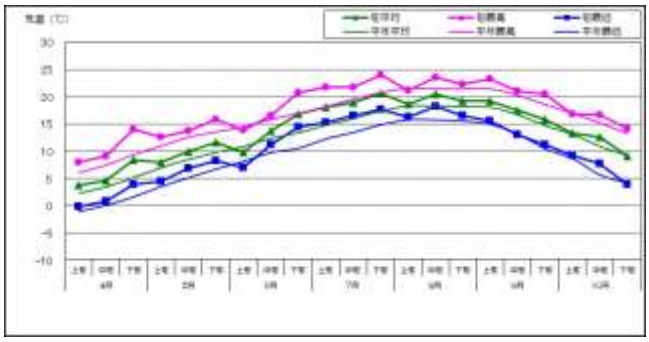


降水量

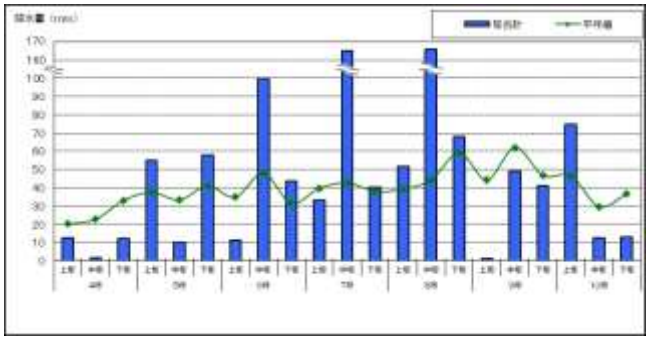


【観測地点：釧路】

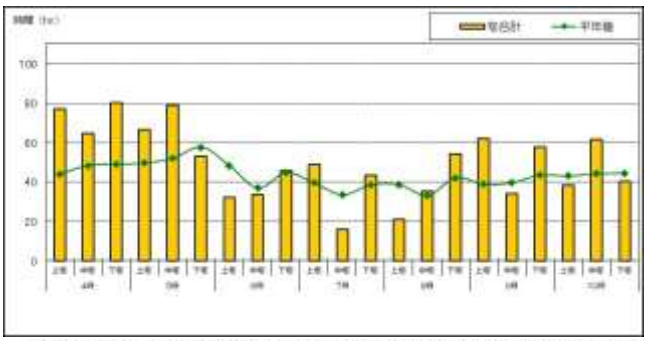
気　温



降水量



日照時間



資料:「農業気象速報(釧路地方気象台) 地域気象観測旬報」【観測地点:川湯】

日照時間

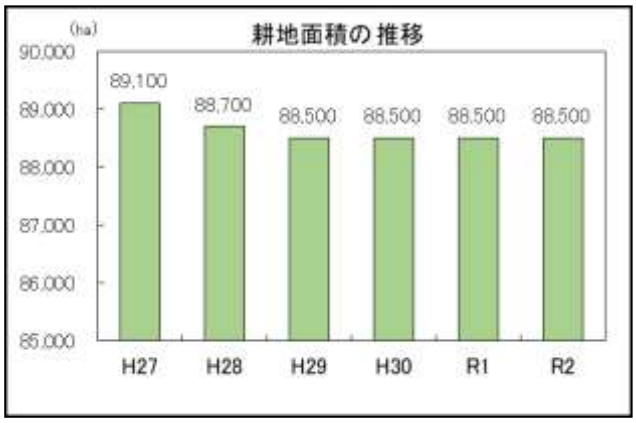
資料:「農業気象速報(釧路地方気象台) 地域気象観測旬報」【観測地点:釧路】

■2　農業構造■

（1）耕地面積

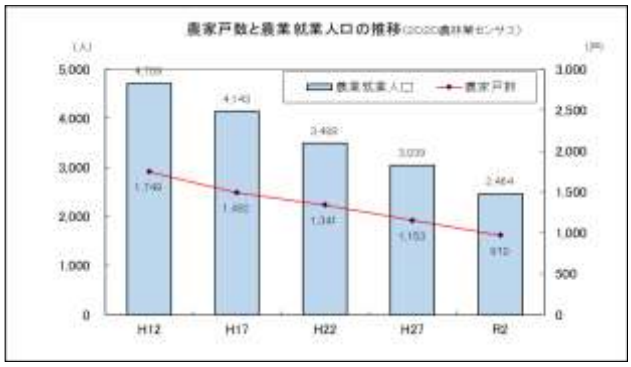
令和２年度の耕地面積は 88,500ha で、管内総面積の約 15％を占めています。

なお、釧路管内は酪農が中心のため、令和２年の牧草作付面積は 67,578ha（農務課調べ）と管内の耕地面積の約 76％を占めています。



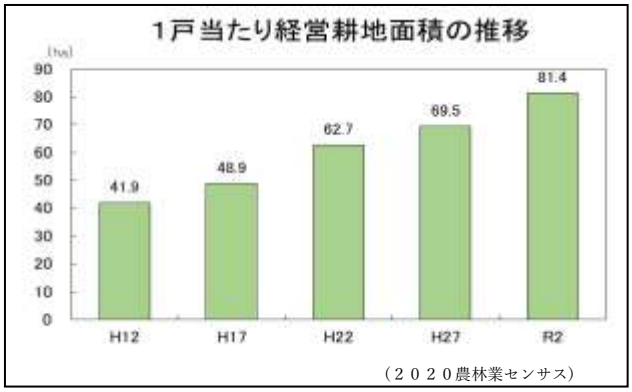
（2）農家戸数と農業就業人口（販売農家）

農家戸数は年々減少を続けており、令和２年の農家戸数は 970 戸、農業就業人口は 2,464 人となっています。



（3）１戸当たり経営耕地面積・労働時間

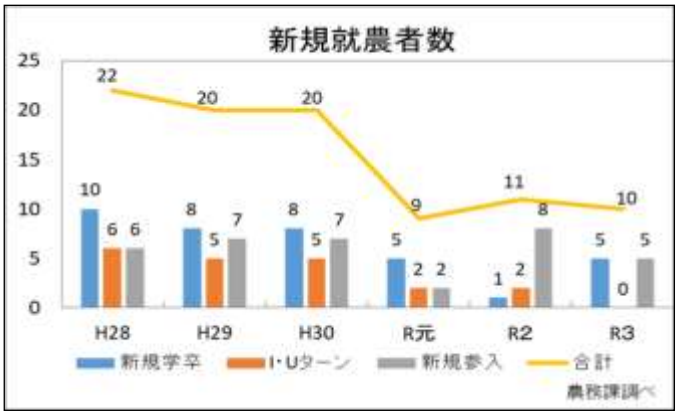
１戸当たりの経営耕地面積は年々増加しており、令和２年では 81.4ha となっています。また、酪農経営体においては、令和３年の一経営体（個人）当たり労働時間は、北海道平均では 7,879 時間と平成 30 年より減少傾向がみられます。



（4）新規就農者

釧路管内の新規就農者数は、リーマンショックや東日本大震災の影響により雇用情勢が厳しかった平成23年の35名をピークに減少を続け、令和３年は10名となっています。このうち親元就農した新規学卒者は５名、Ｕターンにより就農した者は平成７年以来の０名となり、親元就農の低迷が続いています。

一方、農外からの新規参入者は、５名となっています。



釧路就農相談会及び経営改善セミナーについて

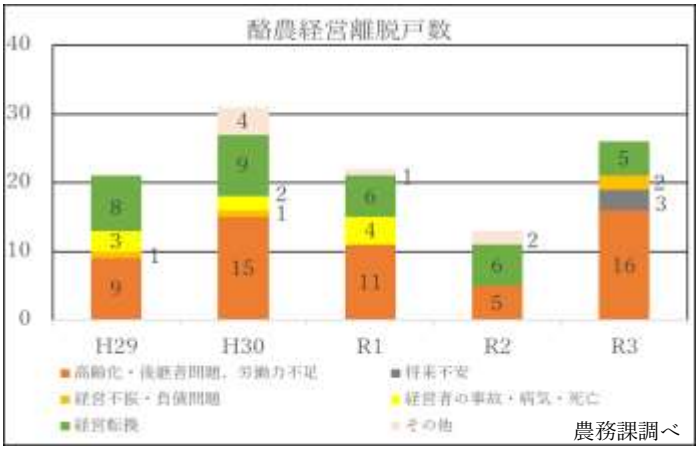
地域活性化雇用創造プロジェクト事業（厚生労働省）を活用し、東京（10月）と大阪（11月）で雇用就農を主な目的とする相談会をオンライン併用で開催しました。昨年度に引き続きコロナ禍での開催となりましたが、釧路農協連のほか農業法人とＪＡが参加。各会場の参加者はそれぞれ７名でした。

また、トヨタ生産方式のノウハウを酪農に応用して現場改善を行うことを目的に、トヨタ自動車㈱の専門家を招へいし、農業法人の経営者などを対象とした現地指導とWEBセミナーを開催しました（12月）。

（5）経営離脱者

釧路管内の酪農経営の離脱戸数は、令和元年、令和２年は減少していましたが、令和３年に増加しました。

令和３年の離脱理由は、高齢化・後継者問題、労働力不足が16戸と最多のほか、将来不安や経営不振・負債問題での離農が増加しました。



（6）認定農業者

認定農業者とは、農業者が自らが経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画」（５年後の経営目標）を市町村が認定し、その計画達成に向けた取組を関係機関・団体が支援を行う仕組みです。

釧路管内の認定農業者数は、農家戸数の減少に伴い、平成23年３月末時点の1027経営体をピークに減少を続けており、令和３年３月末時点で889経営体となっています。

（7）農地所有適格法人

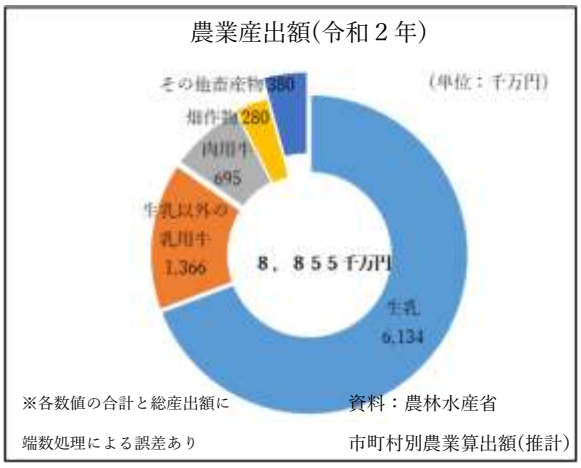
農業経営の法人化は、経営管理能力や対外的な信用力等が高まるほか、給与制や休日制、社会保険等の整備により優れた人材を確保しやすく規模の拡大や経営の多角化等が容易になるなどのメリットを有しています。

釧路管内の農地所有適格法人数は、年々増加してきており、令和３年１月現在で 133 法人となっています。

■３　農業経済の状況■

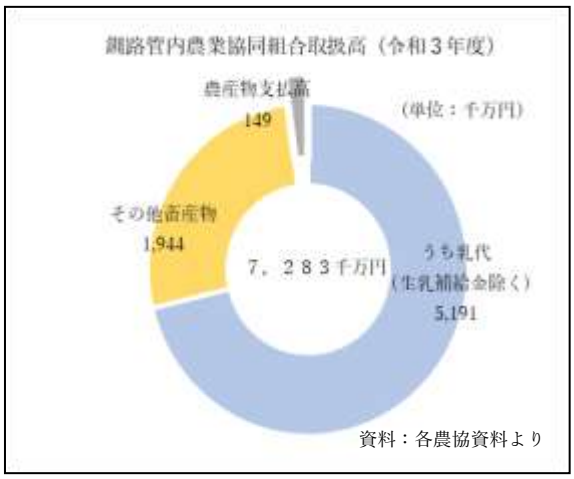
（1）農業産出額

令和２年の農業産出額は、885 億 5 千万円となっています。品目別で見ると、生乳が農業算出額の約 69％を占めています。生乳以外の乳用牛も含めると約 85％を占め、酪農が釧路農業の基幹となっています。



（2）農業協同組合取扱高

令和３年度の釧路管内農業協同組合取扱高は 728 億 3 千万円で、このうち畜産物支払高は 98.0％を占めています。



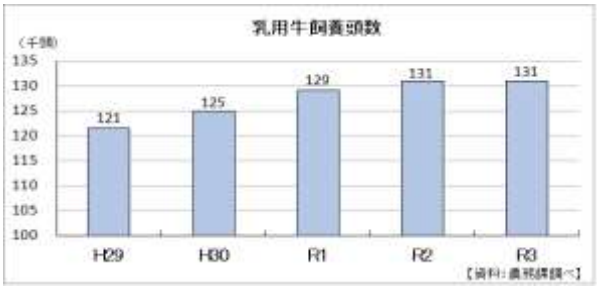
■４　農業生産の状況■

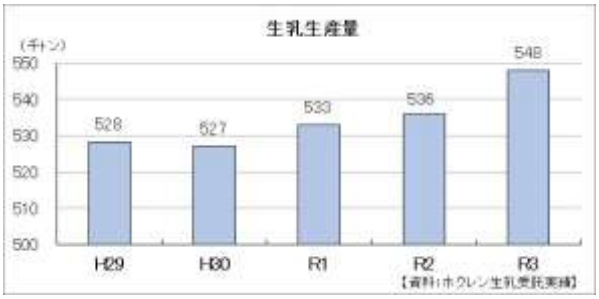
（1）酪農

酪農は釧路農業を代表する産業であり、乳用牛飼養頭数及び生乳生産量で全道の約 15％を占めています。

生産された生乳の多くは、管内の乳業工場でバターや生クリームなどに加工されていますが、一部は飲用牛乳としても加工されており、管内のスーパーなどで購入することができます。

また、生産された生乳の一部は、高速貨物船「ほくれん丸」により本州方面へ移出されています。





（2）畜産

（肉用牛）

肉用牛に飼養頭数は全道の約９％と小規模ながら阿寒丹頂黒和牛（釧路市）、摩周和牛（弟子屈町）、星空の黒牛（標茶町）など、地域や団体等で肉用牛のブランド化が進んでおり、生産現場では、食の安全･安心はもとより高品質な牛肉の生産が行われています。

（馬）

明治時代に陸軍の軍馬補充部が置かれるなど、釧路では過去から農用馬生産が盛んで、現在も飼養頭数は全道の約２割を占めていますが、近年は横這いとなっています。

また、釧路の馬文化を守る活動も活発に行われています。

（3）飼料作物

釧路管内は冷涼な気候のため、牧草の生産が中心であり､飼料作物に占める飼料用とうもろこしの割合が約６％と全道に比べ低くなっています。

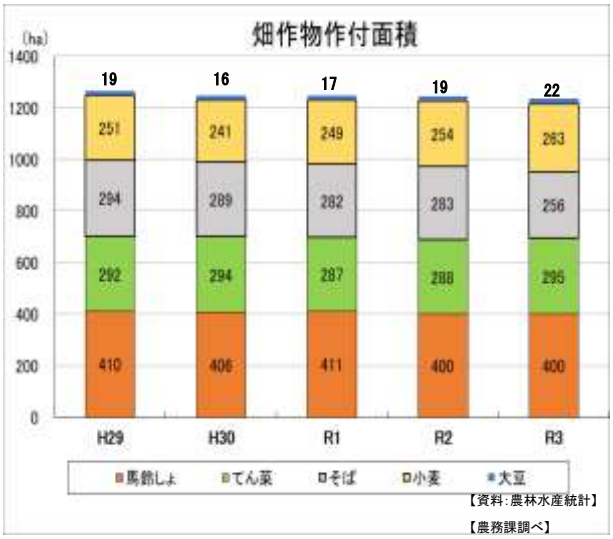
しかし、ＴＭＲセンターの整備などの動きとあわせ､飼料用とうもろこしの作付の割合は増加しています。

（4）農産物

釧路管内では、比較的温暖な内陸部を中心にて馬鈴しょ、てん菜、小麦、そばなどの畑作物が作付けされています。

馬鈴しょは労働力不足などの影響で面積が減少傾向にあります。

このほか、冷涼な気象条件を活かしてだいこんの大規模栽培が行われており、鶴居村、標茶町、釧路町の広域産地が夏だいこんの野菜指定産地となっています。



■5　農地整備・農村振興■

（1）農業農村整備事業

ア　事業の概要

釧路管内の農業農村整備事業は、自給飼料基盤に立脚した経営の確立に向け、草地整備改良などによる飼料自給率の向上や農作業効率の向上を推進しているとともに、農道整備による農業の生産向上や農産物流通の合理化を推進しているほか、生態系や農村景観の保全なども取り組んでいます。

このような取組を進め、「いのちの源『食』の生産」、「多様な担い手と地域」、「豊かな農村環境」をささえる取組を展開し、豊かな農村空間の創造をめざしています。

イ　事業予算の推移

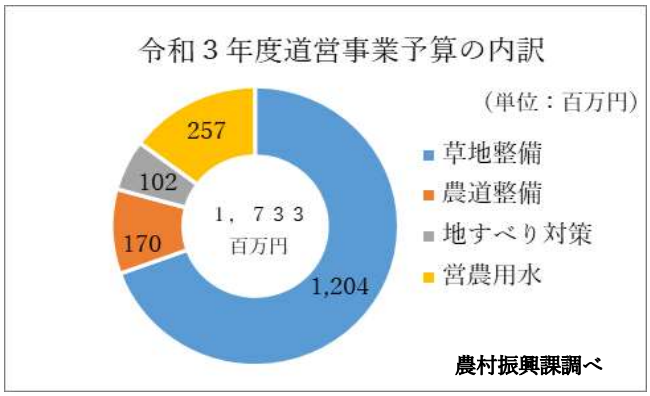
農業農村整備事業は、事業の実施規模により、事業実施主体が国・道・団体（市町村・公社等）に分かれます。

令和 3 年度事業予算については、道営事業 15 地区 17 億円となっています。

事業予算については、やや減少傾向となっています。

ウ　事業の内容

釧路管内においては、酪農地帯のため、粗飼料生産を高める草地整備や牧草・生乳を円滑に輸送する農道整備事業となっています。



（2）農村振興

ア　多面的機能支払交付金

農業・農村は国土保全、水源涵養等の多面的機能を有していますが、農地、水路、農道等の地域資源は、農村地域の過疎化、高齢化の進行等に伴う集落機能の低下により、その適切な保全管理が困難となっており、担い手農家の負担増加も懸念されています。このような状況に対応するため、地域の共同活動による農地、水路、農道等の地域資源や農村環境の保全、農地周りの農業用用排水路等の長寿命化等の高度な保全のための取組に対し、多面的機能支払交付金により支援しています。釧路管内全ての市町村で実施されており、農業者・自治会・婦人部・老人クラブなどで組織された活動組織が、農地、排水路、農道の保全活動等に取り組んでいます。

イ　中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等直接支払制度は、農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続するため、平成 12 年度から実施してきており、令和２年度から第５期対策（令和６年度まで）が開始されました。

また、平成 27 年度から法律に基づいた安定的な措置として実施されています。

具体的には、市町村集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）を締結し、それらに従った農業生産活動等を行う場合、面積に応じて一定額を交付する仕組みとなっています。

■6　普及・家畜衛生・試験研究機関■

（1）釧路農業改良普及センター

釧路管内では、農業改良普及員を３か所に配置し、地域課題解決のため「普及推進計画」に基づく農業経営や技術等に関する普及指導活動を行っています。

① 釧路農業改良普及センター（本所）
住所　川上郡標茶町常盤８丁目５番地
TEL 015-485-2514･2679･2595　FAX 2249

② 釧路農業改良普及センター釧路東部支所
住所　厚岸郡浜中町茶内橋北東 31 番地
TEL 0153-65-2021･2022　FAX 2037

③ 釧路農業改良普及センター釧路中西部支所
住所　釧路市大楽毛 127 番地
TEL 0154-57-8306･8307　FAX 4702

（2）釧路家畜保健衛生所

家畜保健衛生所法に基づき、釧路地方の家畜衛生の向上を図り、家畜振興に資することを目的とし設置されています。
住所　釧路市大楽毛 127 番地
TEL 0154-57-8775　FAX 6125

（3）(地独)北海道立総合研究機構　酪農試験場

酪農に関する試験研究と、根釧に密着した試験研究を行っています。
住所　標津郡中標津町旭ヶ丘７番地
TEL 0153-72-2076　FAX 9113

■7　担い手支援■

（1）北海道指導農業士・農業士釧路地区連絡会議

北海道では農業の発展と地域社会の活性化を図るため、次代の農業の担い手の育成・指導や地域農業の振興に対する助言・協力を行う農業者を「北海道指導農業士」として、また、地域農業の振興等に積極的に参加・協力を行う農業者を「北海道農業士」として認定しています。

釧路管内では令和４年４月現在で 102 名の会員の方々が活動しており、管内全体の組織である釧路地区連絡会議や北部、東部、中西部のブロックごとに各種研修会などを行っています。

また、若手農業者との意見交換を行う「ニューマイスターと語る会」、若手農業者のプロジェクト等の発表会である「釧路管内農業青年実績発表大会（アグリミーティング）」や「標茶高校校内実績発表大会」にも審査員等として参加しています。

（2）青年農業者グループネットワーク（アグリネット 946）

釧路管内では、青年農業者が各地域ごとに青年農業者グループを組織して、日々地域課題の研究や技術向上のための研修等を企画し活動しています。

アグリネット 946 は管内各地域の農業青年グループの相互交流と、日頃の課題解決に向けた技術の研鑽を目的として平成 15 年に結成された組織で、令和４年４月現在の会員は 83 名となっています。

（3）女性農業者ネットワーク

近年、女性農業者や農業者の家族が積極的に組織化し、知識の向上や新たに経営への参画を目標として活動する事例が全国的な動きとして活発化しています。

釧路管内の各地域においても女性農業者グループが活動しており、また、新たに後継者のグループが組織化されるなどの動きがみられます。

（4）釧路農業法人会

道内では農業経営の大規模化が進んでおり、農業法人として農業に参入して活動する企業が増えています。釧路管内においてもその数は年々増加傾向にあります。

（5）新規就農研修牧場

後継者不在による離農が進む中、各地で農業研修生の受入をしており、浜中町、標茶町、釧路市では酪農未経験者を地域の担い手に養成するための研修施設が運営されています。

「酪農の基礎から実践的技術・知識まで」という方針で、多様な就農形態に対応した研修が可能です。

高等学校職場見学バスツアーを実施

農業及び農業関係企業に対する理解の促進を図り、若者の就農意欲を喚起することを目的に、釧路教育局と連携し、釧路管内公立高校の生徒を対象とした職場見学ツアーを令和４年11月に実施しました。管内の普通高校から２年生７名が参加し、バス車内でクイズ形式などにより釧路の酪農について学び、厚岸町の㈱米澤牧場と釧路太田農業協同組合を訪問、各職場では業務内容等について説明を受けた後、農場では搾乳ロボット等の見学や子牛とのふれあい、大型トラクターの試乗体験、農協では牛乳加工施設や購買店舗、事務室等の施設を見学しました。普段農業と触れる機会のない生徒がほとんどでしたが、アンケートでは、「あらためて命の大切さを知った」「仕事の選択肢の一つになった」などの回答がありました。

■8　営農支援■

（1）酪農ヘルパー

酪農ヘルパーは、酪農家に代わって、搾乳、給餌、牛舎の清掃などを行い、酪農家の休日の確保や過重労働の解消などに役立っています。

令和２年度現在では、全道で86組合が組織され、釧路管内では８組合が活動しています。なお、全道の約90％の酪農家が加入しています。

（2）コントラクター

コントラクター組織は、飼料の収穫作業、草地更新作業のほか、堆肥・スラリー散布作業など、農家の営農作業を請け負う組織です。釧路管内では、大型機械による効率的な作業により、規模拡大にともなう酪農家の労働力不足の解消に貢献しています。

令和２年度では、全道で329組織、釧路管内は９組織が活動しています。

（3）ＴＭＲセンター

ＴＭＲセンターとは、サイレージと配合飼料・ミネラル類等を混ぜ合わせ、乳牛に必要な栄養素を過不足なく含んだ完全混合飼料を調整し、それを構成員である酪農家へ供給する施設のことです。

ＴＭＲセンターは、労働負担の軽減、良質飼料の安定的な確保や草地基盤の効率的活用を図る上で、大きな役割を担う新しい地域支援システムとして定着しています。

令和２年度では、全道で86組織、管内は７組織が活動しています。

（4）農協出資型法人

農協出資型法人とは、その法人の実質的経営の中核を農協が担う農業法人のことで、地域農業者の高齢化･離農に総合的に対応できる地域の守り手という役割と営農技術及び資金力を背景とした攻めの農業経営を展開できるとして、現在、釧路管内でも５法人が営農しており、今後もその設立が見込まれています。

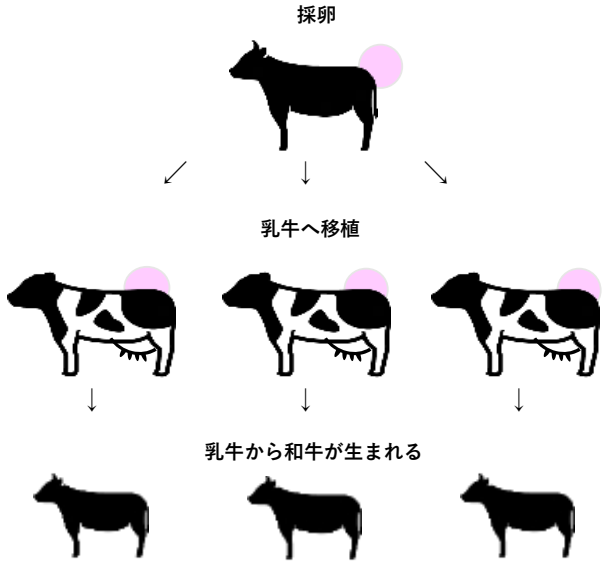
「酪農基盤を活かした和牛生産」プロジェクトチームの始動

釧路総合振興局では、生乳の生産抑制や飼料・肥料・燃料等の価格高騰などにより厳しい経営環境にある酪農家の経営安定化に資するため、釧路地域の酪農基盤を活用した受精卵移植による乳牛からの和牛生産の取組を推進することとし、令和 4 年 10 月 27 日に弟子屈町をモデル地区として、「酪農基盤を活かした和牛生産プロジェクトチーム」を設置した。

この取組は、性判別精液の流通により後継搾乳牛の確保が容易になったことから、個体販売価格が安い乳牛ではなく、受精卵移植により価格の高い和牛を生産し、初生牛（生後１ヶ月～１ヶ月半）で販売することで、副産物収入を確保するという仕組み。しかし、和牛はホルスタインと比較すると、寒さや病気に弱く、体調が急変して死亡してしまうなど、ホルスタインと同じ個体管理では事故につながることが多いという課題を抱えている。

そのため、プロジェクトチームで選定した生産者に対して、和牛の出産から哺育までの支援を行うとともに、技術的な課題の把握や知見の収集を行い、和牛生産に関する技術の提案や費用対効果などをまとめたパンフレットを作成することで、管内他地区での取組を推進したいと考えている。

乳牛を借り腹とする和牛受精卵移植



■9　食に関する取組■

（1）有機農業

管内では冷涼な気候を生かし、４つの農場において有機農業が行われています。栽培品目は、ハーブ、ばれいしょ、豆類、ブルーベリー等で、それらを使った加工品も販売されています。

（2）食育

「豊かで健全な食生活を実現できる人材の育成」を目標に、釧路総合振興局では平成 25 年度「くしろ食育推進ネットワーク」を設置し、関係機関が連携した食育の取組を推進しています。

管内では小学生を対象とした「親子食育教室」など様々な取組が展開されています。

親子食育・料理教室（釧路市生涯学習センター）

（3）地産地消

道では道産食材を使用した「こだわり（自慢）料理」を提供する飲食店を「北のめぐみ愛食レストラン」として認定しています。令和 4 年 12 月現在、管内では 15 店が認定されています。

（4） 6次産業化

農山漁村の地域資源を活用し、1次・2次・3次産業の連携により地域の活性化や所得向上を目指す6次産業化の取組について、令和4年12月現在、管内では5事業者が六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受け、事業に取り組むこととしています。

■ 六次産業化・地産地消法に基づく認定農業者一覧（令和4年12月現在）

認定年度	市町村	事　業　者	事　　業　　内　　容
H23	標茶町	(有)風牧場	標茶町の新鮮な生乳を使用したヨーグルトの製造・販売事業
H24	釧路市	阿寒農業協同組合	黒毛和牛とラズベリーを活用した新商品の開発・販売
H26	弟子屈町	(株)みどり工房	構成員の生産した牛肉を使用した新商品の開発・加工・販売事業
H27	浜中町	(株)おおとも チーズ工房	新鮮な生乳を使用したドリンクヨーグルトの加工・販売事業
H30	釧路市	(株)Ｏｚａｋｉ	植物工場（人工光・水耕栽培）でのリーフレタス等の生産・販売事業

釧路デーリィディスプレイについて

新型コロナウイルス感染症の影響下で牛乳・乳製品の需要が落ち込み、学校給食がなくなるゴールデンウィークは、生乳廃棄の懸念が高まっていたことから、農政事務所釧路地域拠点やホクレン釧路支所、北農中根釧支所、釧路農協連と連携し、4月 23 日（土）～5月8日（日）にイオンモール釧路昭和店で、牛乳・乳製品に関する展示「釧路デーリィディスプレイ」を実施した。

釧路管内産の牛乳・乳製品のパッケージの展示のほか、パネルを用いて牛乳・乳製品を使ったレシピの提案と生乳需給の仕組みの説明を行った。また、根釧ソフトクリームマップと根釧チーズマップは、連休中のドライブに使用できると非常に好評で、約 400 枚を配布し、消費喚起を図った。

チーズなスイーツフェア in くしろの開催

新型コロナウイルスの影響で、管内のチーズ工房の売上が減少しているため、チーズの魅力発信と消費拡大を目的に「チーズなフェア in くしろ」を令和2年度から開催している。

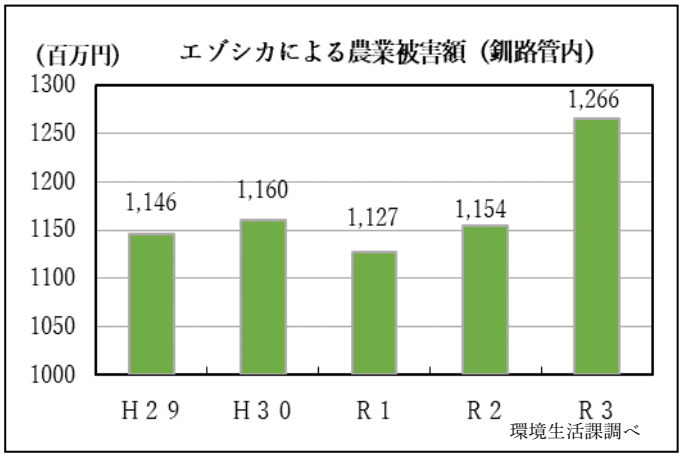
本年度は、普段、管内産チーズにあまり触れる機会のない若年層でも手にとりやすいように、チーズを使ったスイーツフェアを企画し、管内 5 つのチーズ工房と菓子・飲食店 15 店に協力いただき、10 月 29 日(土)～12 月 4 日(日)の日程で開催した。

スイーツフェア以外にも、浜中町ルパン三世フェスティバルでのチーズ試供品の配布や Instagram で牛乳・乳製品を使った料理写真投稿キャンペーンを行った。

■１０　エゾシカによる農業被害■

エゾシカによる農業被害額は、捕獲の促進や侵入防止柵設置などの対策を進めたことにより、一時的に減少したが現在は横ばい傾向にあります。

また、釧路管内は全道一の被害額（令和３年度 1,266 百万円）であり、牧草が全体の７割以上と最も多く、以下サイレージ用とうもろこし、根菜類となっています。



■１１　地域資源を活かした取組■

（１）生乳加工施設

管内では、大手乳業メーカーの乳業工場のほかに、地元産の生乳を生かした小規模な乳製品加工施設が点在しています。管内のスーパーなどでも、それらの加工施設で製造されたチーズや牛乳などが販売されており、また、夏季にはソフトクリームなどが観光地で販売され、観光客を楽しませています。

■ 釧路管内の乳業工場（大手）

市町村	施設名	主な製造品
浜中町	タカナシ乳業（株）北海道工場	生乳、生クリーム、バター、チーズ
標茶町	雪印メグミルク（株）磯分内工場	脱脂粉乳、バター、生クリーム
釧路市	よつ葉乳業（株）根釧工場	生クリーム、脱脂粉乳、脱脂濃縮乳、飲用向

■ 釧路管内の小規模乳業施設一覧

市町村	乳業施設名	主な商品
釧路市	マルシェ山花 （（有）仁成ファーム）	アイスクリーム、牛乳
	ミルキークラウン	アイスクリーム
	（有）愛協	粉乳（飼料用）
	手作りアイスあっかんべぇ～	アイスクリーム
釧路市阿寒町	ワンツー牧場	牛乳、アイスクリーム、チーズ、ヨーグルト
釧路市音別町	この町愛すの家も～ちゃん （乳製品加工研究会）	アイスクリーム
厚岸町	厚岸チーズ工房「なんくる」 （厚岸農家チーズを作る会）	チーズ
	釧路太田農業協同組合	牛乳、アイスクリーム
	森高牧場	牛乳、チーズ、アイスクリーム
浜中町	（株）おおともチーズ工房	チーズ
	Grateful Farm （松岡牧場）	チーズ
	（有）小松牧場	牛乳
浜中町	（株）ファームデザインズ	牛乳、アイスクリーム
	東円牧場株式会社　チーズ工房	チーズ
標茶町	長坂乾酪製造所 （長坂チーズ工房）	チーズ
	（有）風牧場	チーズ、アイスクリーム、ヨーグルト
	北海道標茶高等学校	牛乳、バター、チーズ、クリーム及び脱脂乳
弟子屈町	（有）渡辺体験牧場	牛乳、アイスクリーム
	くりーむ童話 （（有）すずきふぁーむ）	アイスクリーム
	摩周湖のあいす （（有）摩周企画）	アイスクリーム
鶴居村	鶴居村農畜産物加工施設「酪楽館」	チーズ、アイスクリーム、ヨーグルト
	ハートンツリー	チーズ
白糠町	（株）白糠酪恵舎	チーズ、れん乳、アイスクリーム、ヨーグルト、バター

（2）ふれあいファーム

道では、都市と農村の交流に意欲的な農業者の農場を対象とした「ふれあいファーム」の登録を推進しています。「ふれあいファーム」は、多くの皆さんに気軽に訪問していただき、農作業体験や農業者の方々との語らいを通して、日頃接する機会の少ない農場の実際に触れ、農村の魅力を感じてもらうための交流拠点としての役割を果たしています。

「ふれあいファーム」は全道各地にあり、釧路管内では、８農場（令和４年 12 月末現在）が登録され、農作業体験、手づくり体験、動物とのふれあい体験、農産物直売など、メニューは様々です。各地域ならではの特色ある個性豊かな「ふれあいファーム」を訪問してみませんか。

「ふれあいファーム」は、農業者の方々の日常の仕事場であり、農作業の忙しい時期もありますので、訪問にあたっては、事前に連絡をとり、対応可能な時期や時間などを確認するようにしてください。また、訪問の際は、農場内でのマナーなどに十分ご留意ください。

【ふれあいファーム訪問の皆さんへお願い】

口蹄疫や鳥インフルエンザが家畜や鶏に感染して農家に大きな被害をもたらした例がありました。

その際、被害防止のため、関係者以外の農場への立ち入りを制限することがあり、ふれあいファームでも一部の施設において宿泊や体験受入の制限や中止となりました。

これからも必要に応じこれらの措置をとることがあります。お手数をかけますが必ず事前に確認の上訪問されますようご協力をお願いします。

全道のふれあいファームは北海道のホームページで紹介しています。
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsi/hureaifarm/hureai-top.htm

釧路／ふれあいファーム

令和４年12月現在

市町村名	農場名 （代表者氏名）	体験内容	連絡先	対応可能な時期 及び受け入れ等
浜中町	ルミ・ヒロファーム タカワキ （高脇 留美子）	● ｱｲｽｸﾘｰﾑ、ﾊﾞﾀｰ、簡単なﾁｰｽﾞ作り ● 牧場見学、自然探索など ● 地場産物による加工、販売(ジャム、漬物など)	TEL･FAX/0153-65-2664 又はTEL/0153-65-2779 (申込先　霧多布湿原センター) 浜中町西円朱別西16-107 E-mail:rumi-two@lily.ocn.ne.jp	受入人数／10人まで
	大友牧場 チーズ工房 （大友　誠）	● チーズ販売 ● 軽食、休息	TEL/0153-65-2431 FAX/0153-65-2285 浜中町西8線51番地	営業時間 10:00～17:00
	ホームページアドレス	http://www.otomo-cheese.com		
	北太平洋ｼｰｻｲﾄﾞﾗｲﾝ 乗馬ｸﾗﾌﾞ安藤牧場 （安藤　泰幸）	● 乗馬体験/通年 ● 牧場見学/通年 ● 漁業体験（昆布干し）/7月～9月	TEL/0153-68-6458 〒088-1644 浜中町恵茶人 E-mail:maruya@abelia.ocn.ne.jp	要事前連絡
	ホームページアドレス	http://www6.ocn.ne.jp/~maruya/		
標茶町	ファームイン・ビバーク （吉田 保志）	● コテージによるファームイン ● 搾乳体験･ﾁｰｽﾞ作り ● シベリアンハスキーによる犬ぞり体験 ● 乗馬体験	TEL/015-488-2043 FAX/015-488-2177 〒088-2465 川上郡標茶町虹別４３２－３	通年
	ポロニ養鶏場 （大木　義明）	鶏はヒナから自家育成、エサは道産小麦を主体とした自家配合で放し飼いの鶏卵です。（鶏種：イサブラウン） ● 場内の見学 ● **卵の直売（10コ入　600円～）** ● **予約注文によるシフォンケーキ、プリン等の販売** **シフォンケーキ　８00円～900円** **とろりんプリン　150円(１０ヶ以上～)** **＊要事前問合せ**	TEL･FAX/015-485-3702 〒088-2331 川上郡標茶町字オソベツ669-11	場内見学/通年 受入人数/10人程度まで （要事前連絡）
弟子屈町	渡辺体験牧場 （渡辺 隆幸） ＜酪農教育ファーム認証牧場＞	● 搾乳体験、給餌体験 ● 乳しぼり、バター作り、アイス作り／90分 ● トラクターで大草原一週　●子牛とのお散歩体験 ● **干し草の上、ハンモックでのお昼寝体験** ● アイスクリーム、地元特産品販売 ● 大草原カート(4人乗)で大草原一周 ● フリスビー、各種ボールでの遊び、3年後に届く手紙作り、冬場の雪上車での大雪原周遊	TEL/015-482-5184 FAX/015-482-1360 〒088-3222 川上郡弟子屈町弟子屈原野646-4 E-mail:wataiken@dream.ocn.ne.jp	通年／受付／9:30～15:30 受入人数／300名前後 ｱｲｽｸﾘｰﾑ作り／1日100組限定
	ホームページアドレス	http://www5.ocn.ne.jp/~wataiken/		
	川湯ﾊﾟｰｸ牧場＆温泉民宿 （長谷川 義晃）	● 摩周湖ホーストレッキング、マウンテントレイル/初心者OK予約制、昼食付、雨天中止、約4時間 ● 大草原ホーストレッキング/初心者･当日受付OK、約1時間 ● 乗馬体験/1km、400m、30分コース（30分コースは経験者のみ） ● 当宿の名物/ジンギスカン食べ放題 ● 天然温泉/全室和室/15室、定員15名	TEL/015-483-2723 FAX/015-483-3601 〒088-3461 川上郡弟子屈町字跡佐登65線67番地	乗馬/5月～10月 7:00～17:00 民宿/年中
	ホームページアドレス	http://www.big-hokkaido.com/park-bokujo/		
鶴居村	鶴居村 夢牧場 （武藤　清隆）	● 酪農体験（搾乳、給餌）/通年 ● サイクリング、キャンプ/5月～10月	TEL/0154-65-2347 FAX/0154-65-2357 〒085-1133 阿寒郡鶴居村幌呂原野第１基北１線１２番地１１	酪農体験/受入人数は要相談、要事前連絡

（3）都市農村交流施設

ア　農産物加工体験等ができる施設（要予約）

①　アイスクリーム、バター、チーズ、ソーセージ、ハム、パン等

・鶴居村農畜産加工施設　酪楽館（鶴居村久著呂 71-1)・・・・・TEL 0154-64-3088

②　アイスクリーム、バター、ソーセージ等

・酪農ふれあい広場（厚岸町尾幌 124 番地)・・・・・・・・・・・・・・・・・・TEL 0153-56-2400

・加工体験施設 MO-TTO かぜて（浜中町東６線 66）・・・・・・・・・・TEL 0153-64-3000

・山花温泉リフレ（釧路市山花 14 線 131 番)・・・・・・・・・・・・・・・・TEL 0154-56-2233

③　アイスクリーム、バター、チーズ、手打ちそば等

・川湯ふるさと館（弟子屈町川湯温泉 2-3-40）・・・・・・・・・・・・TEL 015-483-2060

④　ソーセージ、手打ちそば等

・体験学習センターこころみ(釧路市音別町原野基線 138-46)TEL 01547-6-9000 FAX 9001

⑤　ソーセージ等

・標茶町農協農畜産物処理加工施設（標茶町開運 9-5)・・・・・・TEL 015-485-1031

イ　乗馬体験等ができる施設

・鶴居どさんこ牧場（鶴居村久著呂 71-1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・TEL 0154-64-2931

・ふれあいホースパーク（釧路市山花 10-1）・・・・・・・・・・・・・・・・TEL 0154-56-2566

釧路農業の概要

編集：北海道釧路総合振興局産業振興部

〒085-8588　釧路市浦見２丁目２番５４号

電話：０１５４－４３－９２２３

ＦＡＸ：０１５４－４１－２１２８

http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/num/

発行：令和５年３月